

令和3年度 ストラドルキャリアー運転業務 インストラクター養成研修ご案内

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

「ストラドルキャリアー運転業務安全教育実施要領」（昭和61年12月22日基発683号 厚生労働省通達）では、労働安全衛生法第59条の特別教育に準じた安全教育として、所定のカリキュラムに基づき、学科教育7時間及び実技教育32時間を修了した者をストラドルキャリアー運転の業務につかせるよう定められています。

当該安全教育の講師については、「ストラドルキャリアー運転業務インストラクター養成研修」を修了した者等を充てることとされています。

当協会では、本年度、3年ぶりに「ストラドルキャリアー運転業務インストラクター養成研修」を実施いたします。

この機会に、関係の方々が多数受講されますよう、ご案内申し上げます。



- 1 開催日時： **令和3年12月10日（金）**
9：30～16：45（受付9：00～）
- 2 会場： **港湾技能研修センター**
（兵庫県神戸市中央区港島9-1 TEL078-302-8250）
- 3 定員： 30名
- 4 受講料： **18,700円**（テキスト、資料、昼食費等を含む。）
- 5 内容： ① 最近のストラドルキャリアーに関する知識
② ストラドルキャリアーの取扱いと点検
③ 走行、荷役その他の装置及び実技指導等
④ 安全管理、関係法令及び災害事例等
- 6 対象者： 総合修了証を所持してからストラドルキャリアーの運転業務を5年程度以上経験した方（定期教育修了者が望ましい。）
- 7 申込方法： 申込書に所定事項をご記入の上、受講料を添えて
12月3日（金）まで、所属総支部にお申し込みください。
- 8 修了証： 修了者には、修了証（学科）を交付します。
- 9 その他： 受講される方が体験したヒヤリハットを別紙のシートにご記入の上、申込書に添付してください。
当日の災害事例研究で活用させていただきます。

令和3年度 ストラドルキャリアー運転業務インストラクター養成研修
－ スケジュール －

| 時間帯 | 分 | カリキュラム | 講師 |
|-------------|------|----------------------------|----------------------------|
| 9:30～10:00 | 30 | 開講 オリエンテーション | 港湾労災防止協会 |
| 10:00～11:00 | 60 | ストラドルキャリアーの 取扱い及び点検 | 港湾技能研修センター |
| | (10) | 休憩 | |
| 11:10～12:10 | 60 | 走行, 荷役その他の装置 及び実技指導 | 港湾技能研修センター |
| | (50) | 昼食休憩 | |
| 13:00～14:00 | 60 | 最近のストラドルキャリアー に関する知識 | 三菱ロジスネクスト(株) |
| | (10) | 休憩 | |
| 14:10～14:30 | 20 | 実技指導項目等 | 港湾労災防止協会 |
| 14:30～15:30 | 60 | 実技指導をどのように進めるか (まとめ・質疑) | 港湾技能研修センター 三菱ロジスネクスト(株) |
| | (10) | 休憩 | |
| 15:40～16:40 | 60 | 安全管理, 関係法令 及び災害事例等 | 港湾労災防止協会 |
| | | 修了証交付・閉講 | |

令和3年度 ストラドルキャリアー運転業務インストラクター養成研修 受講申込書

| | | | |
|----------------|------------------|-------|--|
| フリガナ 氏名 | 年 月 日生 | | |
| フリガナ 氏名 | 年 月 日生 | | |
| フリガナ 氏名 | 年 月 日生 | | |
| 事業場名 及び所在地 | 電話番号 () FAX () | | |
| 連絡担当者 所属部課名 | | 担当者氏名 | |

- ※ 申込書欄が足りない場合は、複写してご使用ください。
- ※ 修了証を交付する関係上、かい書で正確に記入してください。

個人情報について：申込書にご記入いただきました個人情報につきましては、当協会が責任をもって管理し、当該教育以外の目的には使用しません。

◆ 研修会場までのアクセス ◆

🚗 公共交通機関でお越しの場合



🚗 お車でお越しの場合



(別紙)

ヒヤリ・ハットシート

| | | |
|--------|------|--|
| チームNo. | 事業所名 | |
| | 氏 名 | |

状 況

◎ イラスト作りのポイント及び書き方

- 1 シンプルに書く。欲張って、ごたごた書き込まない。
 - 2 ラフでよい。大胆に、フリーハンドで、のびのびと書く。
 - 3 うすく下書きする。概略の配置、バランスを見る。
 - 4 物の輪郭を書く。物を単純化する。機械、工具の特徴をとらえる。
 - 5 人を書く。
 - ① 頭を大きく、3～4頭身に、手や足をしっかり。
 - ② ヘアスタイルと目で性格を、表情はマユゲ、目、口がポイント。
- ◎ 災害防止対策上、わかりやすく他の参考となるものについては、研修等で事業場名、氏名を伏せて活用させていただく場合があることをご了承ください。